

輸液ポンプ使用中の患者さまへ

～安全のためのワンポイント・アドバイス～

輸液ポンプとは

お薬をムラなく正確に血管内へ投与するための装置です。

あぶないですから、おやめ下さい

- ・ 輸液ポンプのボタンには触らないで下さい。
- ・ 輸液ポンプのフタを開けないで下さい。
- ・ 点滴チューブの留め具に触らないで下さい。

▼お薬が急速に体内に入り、危険です。



こんな時は、看護師をお呼び下さい

・ アラームが鳴ったとき。

点滴の流れが悪くなったとき、温度の関係などで気泡が発生したとき、バッテリー残量が少なくなったときなどアラームが鳴ることがあります。

・ 点滴を刺している部位に痛みや腫れを感じたとき。

血管の状態やお薬の性質などにより、点滴が血管外に漏れてくることがあります。痛みや腫れを感じたときは、我慢なさらず看護師をお呼び下さい。



点滴スタンドの転倒にご注意下さい

輸液ポンプは約3kgの重さがあり、無理な力を加えると点滴スタンドが倒れることがあります。ふらついたときは点滴スタンドにはつかまらず、手すりなど固定されたものをつかむようにしましょう。